

「倫理を考える会」について

看護倫理とは、看護師が看護を行う上で守るべき「道徳」や「規範」のことです。簡単に言うと、質の高い看護と提供するための「考え」や「行動」の指針のことです。指針が定まっていなければ、看護師・病院各々が行うケアに大きな差異が生じてしまい、患者が適切な看護・治療を受けることができなくなってしまうため、看護倫理の存在やそれに準ずることは非常に大切なのです。

私たちは適切な看護・治療を提供できるように、気軽にスタッフ同士が倫理について話し合う環境を調整し、基本的責任と人間性の尊重、ケアの質の向上への努力、差別のない看護の提供などに努め、より良い看護を提供できるように2年前より「倫理を考える会」を発足しました。

目的：「倫理を考える会」は倫理について専門職としての責任性の向上、看護の質の向上を目指し、倫理的感受性や判断力の共有ができる場を提供する。

今後の予定

- 各病棟の倫理カンファレンスの充実。
- 各病棟から2~3人選出し、他病棟の特殊性を越えカンファレンスの充実を図る。
- 各病棟の倫理カンファレンス内容を他病棟も閲覧を可能にして、病棟全体に倫理について考える環境を検討する。
- 充実した倫理カンファレンスを運営するためのマニュアルの作成。